

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2020年 2月20日

事業所名:スクラムトライ児童発達支援放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	人数に応じ広い空間で目の届く範囲のスペースを確保しています。	・工夫はされていると思う。	安全に運動ができるスペースを確保していきます。
	2	職員の適切な配置	子供の人数の多さで異なります。	・手厚く見てもらっている。 ・職員数が分からない。	ご利用者様や保護者様の意見を活かし今後も適切な配置を行っていきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子供達が安全に過ごせるように室内は内面バリアフリーにしております。	・不安を感じたことは無かったので、お任せしてきたが、改めて説明を受けたことも無かったかなと思います。	保護者様に設備をご説明する機会を設けていきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	適切に毎日清掃・消毒を行っています。	・部屋の中に入ったことがないのでわからない。	今後も毎日の清掃活動を継続して実施します。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日朝礼、昼礼やミーティングを行い、全職員で業務改善に努めています。		今後も継続していきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、第三者による外部評価は受審していません。		今後第三者の外部評価の導入を検討していきます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月職場内研修を実施しています。また、外部研修の機会も設けております。		今後も継続して積極的に機会を確保し参加していきます。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	会議の中で児童・保護者様の意向を共有・確認し、計画を作成しています。		児童への必要な支援内容と訓練がどのように関連し、結果がどのように表れているか等も配慮していきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	学習支援は一人一人の個性を尊重し、1対1で療育を実施しており、音楽・児童療法等では集団活動を通して協調性を身につけられるよう計画を考え、実施しています。	・スクラムに通いだしてから、落ち着いて放課後を過ごせるようになった。	今後も児童の変化に合わせた支援を意識していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画等での必要な項目を設定し、連絡ノートにその日に記載を行っています。		より支援計画に沿った目標の達成が出来るように適切な支援の実施を行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	一人ひとりに応じた支援ができるように配慮しています。	・子どもに合った支援をしてくれている。 今後も継続していきます。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全員で提案・協議し、決めています。	今後も職員全員で意見・提案を共有していきます。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日に応じて活動プログラムを立案していますが、課題設定は休日に特化しておりません。	・COOKINGや外出など楽しく参加させていただき、成長につながっていると思います。	児童の変化や保護者様の意見を汲み取って支援をしていきたいと思えます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	基本のプログラムは変わらないですが、季節に応じてイベント等 行っています。		季節・利用時間等に応じて活動内容を計画し、今後も内容が偏らないよう配慮していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼の際に、確認しています。		出勤時間が児童の登所時間によって異なる事がありますが、朝礼時はなるべく実施してその日の流れや個別支援が必要な利用児の把握するようにしています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	申し送りノートを使用して、振り返りを行っています。		今後も終礼時に、気づきの情報共有と支援の見直しを図っていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	養育状況を話し合い、日々の支援を記録し、次回の支援に生かすようにしています。		今後も記録の徹底を意識し、継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	子どもの実態に合っているか計画を見直すようにしています。		今後も継続していきます。
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	積極的に会議を行い、よりよい支援になるようにしています。		会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。また、相談員との連携を行い、情報は得ています。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児童なし。		現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児童なし。		現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	計画相談事業所を通じて、支援内容・方法の情報の共有を行っています。		今後も継続していきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、対象児童がおりません。		必要に応じて対応していきたいと思います。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	多職種連携も視野に入れ、今後の対応を考えていく必要性を感じているが、実行には移せていません。		職員に研修情報等を提供し、意欲的に参加できる体制の確保を目指します。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は近隣施設に遊びに出かけた先での交流のみで、定期的な機会は実施出来ていません。	・交流があるのか不明。	交流する機会があれば、地域の方々と良い関係性を築いていけるよう努めていきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今のところ、招待するほどの行事を現在は行っていません。	・あまり交流を望んでいない。	ご要望、ご意見を伺いながら必要に応じて検討していきたいと思います。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	連絡ノートにその日の活動の様子を記入したり、迎えの時、口頭で伝えるようにしている。	・されていると思う。	保護者へ機会あるごとに説明を行っているが、更に理解して頂けるよう丁寧な説明に取り組みます。
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	書面等を使って分かりやすく説明しています。	・利用時には報告を受けている。	今後も契約時に配慮しながら説明していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談に対しては、家族支援として個別に対応しています。	・わからない。	今後は、保護者への積極的なトレーニングの実施に取り組んでいきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時にできるだけ話をする機会を作っています。	・送迎のときのスタッフさんからのちょっとした報告が貴重でありありがたいと思います。	今後は連絡帳以外にも、送迎時などに口頭で日々の報告・相談をしていきたいと思っています。(できるかどうか)
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	いつでも相談を受ける体制をとり、相談助言を実施している。	・悩み相談をしてもらっている。	たくさんお話できている保護者と出来ていない保護者の差があるのが現状としてあります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会の設置には至っていません。	・保護者同士の関わりは特にありません。	今後要望が多くあがるようであれば検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	保護者からの苦情は少ない現状だが、対応は迅速に実施している。	・いつも丁寧な対応でありがたい。	今後も、苦情があれば迅速に対応していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	現状は連絡帳にてやり取りを行っています。	・規定やルールなどに変更事項があれば事前に知らせて欲しい。	変更事項等ある場合は、事前にお知らせできるよう適宜対応していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現状、会報の発行予定はございません。	SNS等の活動記録は見えています。	現状FacebookやHP上でお子様の活動概要等を報告しております。今後もこちらを更新していく予定です。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のファイルは決められた場所に保管し、個人について知り得た情報は口外しないようにしています。	・不審に思うことは今のところありません。	今後も流出等がないように十分注意をしていきます。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは算定し、職員間での周知は出来ていますが、保護者までは行き届いていません。	・知っています。 ・よくわからない。	今後は、訓練計画も含め保護者の方への周知を徹底していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	児童に対して口頭説明で行っております。		今後は実際の訓練も交えて行っていく、保護者様にも情報を伝達していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機 等の適切な対応	研修を確保するようにしています。また職員 間で話し合いを持つ時間を設けています。		今後も研修を確保できるように努めて いきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組 織的な決定と、子どもや保護者に事前に十 分に説明・了解を得た上での児童発達支 援計画又は放課後等デイサービス計画へ の記載	現在対象になる児童はいません。		現状の方針として、身体拘束を行う予 定はありません。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師 の指示書に基づく適切な対応	アセスメントの際、保護者から聴取し、確認 はできています。		引き続き、保護者との連携を密にし、 確認を行っていきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	スタッフー同心がけ、何かあると話し、共有 しています。		今後も様々な要因を分析し、ヒヤリ ハット報告書を事業所内で確実に回 覧し、事故に繋がらないよう環境や状 況に配慮していきます。